



國家圖書館編

東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

92



國家圖書館出版社



國家出版基金項目
NATIONAL PUBLICATION FOUNDATION

國家圖書館
編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

92

國家圖書館出版社

第九二冊目錄

昭和二年（一九二七）調查報告（第二十四期生）

間島地方農業調查

間島地區農業調查

間島地方鑛業調查

間島地區鑛業調查報告

吉林省ノ森林

吉林省の森林

商務會及商事公斷處

商務會及商事公斷處

藤島健一 第十三卷第一編 一

藤島健一 第十三卷第二編 一八一

中尾威 第十三卷第三編 二四九

湯川武雄 第十三卷第四編 四二一

上海東亞
圖書院
圖書印

三卷

北滿間島經濟調查

一編 間島地方農業調查

第一章

總說

当地方ノ農業經濟ハ耕作本位ヲ以テ爲サレ来リ
未ダ其方法幼稚クシテ免シカシテ小作制度モ亦
極メテ原始的ナレドモ農業ハ間島經濟ノ中心ヲ
爲セルモノナリトモ当地方經濟事情ノ骨子ヲ爲
スモノト云フベシ、而モ直接農業事ニカランモノハ
大部分ハ我が國民タム朝鮮民族ナルカ故ニ之ガ
研究ハ調査ハ從リテ我が朝鮮北道政策カ如何
ナルニ依テ即チ差支セシカリ見ん、得んモノト
思ハシテ候カズ余輩モ亦此處ニ多クノ注意

ヲ拂ヘリ、民國十四年ノ各種農產產額ハ近年
 稀有ノ大豐作ナリシガ十五年ハ約二割ノ減收
 ニシテ本年ハ又多ク豐作ノ見込ナリト云フ、十五年
 ハ播種期ニ旱魃甚クシテ發育ノ不充實ナル
 地方モアリ或ル地方ニテハ時々直シヲナシ加フルヲ
 基程ノ發育全節ニ雨量ニ稍多クナリシヲ
 出資、霜害等々亦亦ルヲ多クナリシ等ノ原因相
 集ルヲ減收ヲ見ルナリ

農作物收穫高一覽表

昭和二年度迄ハハ未ダ正確ニ數字ヲ得ルモノ其
 豫想高ハハ第三年第一節ニ記述スルナリトシ茲
 ハ昭和四年ノハシテ領事館ノ調査ニ依ルモノハ、

2 以テ止ル、

重安県産物			
大豆	一粟	大豆	一粟
六四三、〇五九	一〇六八、一四〇	九八六、七四七	七二〇、〇二三
二四六、一〇三	二四八、〇〇三	二四四、一六三	二二二、四八八
一四二、一七〇	一七〇、六三三	一四九、九五三	一八七、六一二
七二、六七七	四四、五五二	八〇、八四二	三六、五〇四
一七、二三二	二〇、一四二	〇	八、一六五
二、九〇九	二、九〇九	〇	八、一六五

財團東亞同文會刊

蜀乘

一五九、二四四

一五四、七二六

X 四、五、八

馬鈴薯

四、七六、三八四

三三、七八五、九〇八

X 七、九四、四七六

備考
單位石 馬鈴薯ハ四貫下リ

第二章 作付及別

大正十五年某箇所及彈看地方四縣下一作付總
及別ハ十九ノ六千六百四十九町步（当該地方ハ胸
ヲ使用スルヲ以テ胸地六段七畝ヲ以テ計算セリ）
ニテ十四年度ニ比スルニ三千一町八反ノ増加ヲ見タリ
昭和二年度ニ比シテ大体ニ於テ地比例ノ増加ヲ来
ルベシト歡喜セラルルガ特ニ二道溝附近及彈看
地方著シ、作付及別ノ増加率ハ移住鮮人ノ増
加ニ伴フテ漸増的ニシテ移住鮮農ノモノ健
全ナル発展ヲ冀望スルモノナルベシ、
然レモ農業者如滿ノ平野地ニ富ミ先住者多
ク、治安維持亦最モ完全ニ行ハレ且ニ鮮内地

トノ交通往來比較的距離ナル關係上耕地面
 積ノ多キ點、松ノ第一位ヲ占メ、十一萬三千三百
 十一町七反歩ニシテ和龍郷ハ三萬四千二百二十三町
 一反歩、輝春郷ハ一萬七千六百十一町九反歩ナリ
 和龍郷ノ實際ヲ見ルニ地味ニ境埵アリ奇
 巖化面積ヲ少クシテ將來開墾ノ見込ニ土地
 已殆ド尽ラシメ、今後移住郷人ヲ容ルノ
 餘裕ナシ、然レモ汪清縣ハ今尚平林林地
 帶大部合テルノミナラズ有餘ニ、可耕未墾地
 刻ン所ニ存在シ地味概テ膏腴ニシテ其收
 穫率多クモ治水維持ノ點ニ於テ他ノ縣ニ比
 シ不安ナル點、一般移住郷農ハ
 該地ニシテ

忌避スルノ傾向ツルハ特ニ注目ヲ必要トスル
 所以ナリ、之ヲ要スルニ和龍縣ヲ除キ他ノ三縣
 前途移メテ有望ニシテ耕地面積ハ將來倍々
 二、三、四倍ニ増大シ得ラル、兎ケリ、作付ノ最
 モ多キハ移民鮮人ノ主食作物ニ粟ト新出
 穀類ノ大豆トシテ其面積ヲ以テ全作付
 ノ半ハラビタリ、又粟大豆ノほか穀類的作物
 十ニ種ノカ毎年其作付面積ニ著シキ増減
 ツルハ過去ノ統計ニテ能ク知り得ベシ十三年ノ
 作付ハ概シテ粟ハ五カ八千九百九十三町四反廿大豆
 ハ五カ二千六百三十四町八反廿ニシテ殆ト其肩ヲ
 摩リスルノ概ナリ、今大豆作付ノ旺盛トナリシ

原因ヲ考へるゝに、凡ソ此ノ如キ事ヲ得べし、

一、問答大ニノ声響ハ近リ著シク昂リテ内地方

面よりノ声響ハ旺盛トナリ

二、一箱裏ハ水ノ経隔ハ大豆ノ荷重キニテ左所を

ラシメ全量トノ勢力亦他ノ作物ナリトナリ

三、貯蔵スル他ノ穀類ニ比シテ其性乾燥ナキ

四、問答葉が鮮内他ニ比テ其葉を視セリシハ

対シ補給米トシテ大豆栽培多クは要トス

理 (イ) 問答葉ハ其質優秀 價格低廉ニモ

新近栽培不備ニルヲ知テ諸州葉が鮮

内他葉より其の歡迎セラル

(ロ) 數量亦ハ諸州葉ニ比シテナキ

稻作ハ十三年並リ毎年殆ド累進的ニ増加シ十四
 年乃至ハ約二百町歩増サリ見タルモ十五年より
 再び三百町歩ヲ増加セリ、元來稲作ノ有利ハ
 ヤ薄キモサ作ハ増加ニ灌漑設備ヲ條件
 トセカンベラズ、今尙稲作ノ好適地ハ
 頗多キモ之カ爲ニ要スル投資金ノ欠乏センガ
 此地方在住農民ハ往ラハ新事業ニ對スル投資意欲
 有ラレテ待望ノミナリ、若シ現状ノ格付特ニ
 此トスルハ今稲作ハ程々ノ如キ長年ノ発
 展ヲ期シ得ルベシ、同當地方ノ在住農民ハ
 播種期ノ天候如何ニ依テ大體作付ノ名額ヲ
 決定シ時ニ因テサキ耕他金至作付ナラズ

一、年乃至二年間長キハ三、四年間休耕地トシテ
之ヲ放置スル慣習アリ、之ノ畢竟耕地面積ノ
元大ニ關係スルモノナリ又作付ニ對シ地方ノ治
吏維持ノ狀態如何ガ影響ヲ受ケルモノナリ故ニ
ノ特徴ニシテトスルモノハト云フニ決シテ耕地面積ノ
ハルヲ以テシテ年別ノ増減ヲ示スルニナリ

第三章 農作状況

第一節 作柄

十五年ハ近來稀ニ旱魃振リニシテ一般作物ノ発芽甚シク不齊ナリシガ本年ハ到處雨量多ク水害ナヘ起リシ程ナリシガ播種期ニ於テ雨量ハ適量ニシテ発芽以來天候モ亦順調ナリシ乃チ作物ノ生育一般ニ良好ヲ先ケ殊ニ小麦小麦ハ二年來稀有豊穰ヲ示シ之ヲ昨十五年ニ比シバ倍加増收ナリ、而シテ大豆及小豆ハ作柄稍古來過ギノ感ツンモ天候順調ニシテ結実ノ良好ヲ見ルベシ故ニ今年作

第二割増収ノ見込アリ又稿、粟、高粱
 玉蜀黍等其ノ他ノ雜穀類ニ販賣極メテ良好
 ニシテ之ヲ又一般ニ割増収ノ予想也云々
 唯江津縣美、華、鄉ノ一部及和龍縣西羌社、晴霞
 社、日新社、常新社及延吉縣東、西、南、北一帶
 三月一、二年七月三日（余批）ハ草漬ヨリ依テ割
 増ニ至ル半行中（猛烈ナル降雨アリテ又降
 雹アリテ又被害甚大シキモ）金、銀、收穫ノ
 割合ニ劣ルモノハ勿レ所半サニ上リ、之モ甚大
 ノ再播種ヲナシ、其ノ他若干ノ被害他、二三割ノ
 收穫又ハ其後強ト恢復せんモノアリシモノ、金、銀、
 收穫、其被害額僅サトテ終計、之ハ稀有ノ

豊作ヲ見タリ、

今本年度各穀類ノ收穫予想高ク見ル

(単位石)

大豆 七九八、六二一 粟 一〇四、一三〇

玉蜀黍 二四、七六三 水稻 一九九、四五七

高粱 一三二、〇四二 小麦 一五四、一九九

大麦 一三二、〇四二 黍 一〇〇、〇〇五

粟 二六、六三 稗 二五、六五〇

小豆 二五、五〇 其他 一四、一六五

麻 一九六、三五五 其他 八一、二七一

合計 三、八八